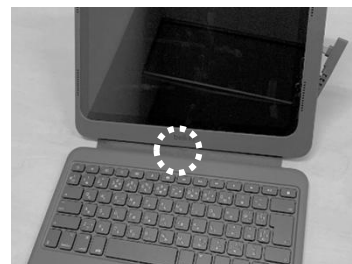


＜端末及びキーボード付きケースの取扱いについて＞

このたびは、今年度初めに交換した新たなキーボード付きケースにおいても発煙する事案が発生し、皆様にご心配とご迷惑をおかけしていることを、心よりお詫び申し上げます。

今回報告のあった複数の事案の共通点は、キーボードを使用している際に、反応がなくなり、右記画像の○印の部分あたりに穴が発生し、煙が立ち上るものです。



一方、現時点では、iPad 本体に不具合は確認されておらず、関係会社からもその旨の確認が取れています。

教育委員会では、お子様の安全確保を最優先としながら、端末を活用した学習を継続できるよう、暫定的に下記の対応をすることといたしました。

記

1 キーボード付きケースの取り扱いについて

(1) 使用について

- ① 右記の通り、コネクタを外した状態であれば、キーボードに通電が生じなく、今回のような事故の発生はないことが、関連会社から確認が取れています。また、キーボードの機能は使用できませんが、ケースとしての機能を維持します。



※ 製造メーカーベルキン社からの別紙参照

- ② したがって、コネクタを外したまま使用する措置をとります。さらに、この状態を維持し、お子さまが、誤ってコネクタを差し込んで使用することを防ぐため、コネクタをテープで巻き、差し込めないような処置を施します。1週間をめどに、順次行います。

処置が終わるまで、お子さまがコネクタを差し込んでキーボードをしないようお声がけください。

- ③ キーボード及びトラックパッドは使用できないため、文字入力はいPadの画面上のキーボードを使用してください。方法は以下の2通りなどがあります。

ア ソフトウェアキーボードでの入力

イ 音声入力

- ④ 充電はいPad本体に直接ケーブルを接続して行ってください。

2 今後について

現在、今回の措置は暫定的なものです。

教育委員会では、児童生徒の安全確保と、端末を活用した学びをできる限り早く保障することを目指し、リース会社及び製造メーカーとの協議・交渉を進めています。

製造メーカーによる解析結果や、今後のキーボードケースの代替等について見通しがつき次第、改めて学校及び保護者の皆様にお知らせします。

なお、本件についてのお問い合わせは、学校ではなく、
教育委員会学校支援課（０２５－２２６－３２６１）までお願いいたします。

引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今回の対応については、学校を通じて、以下のメッセージを児童生徒に伝えるよう依頼しています。

（教職員代読） ※ 発達年齢に応じて、表現や内容を変えていただいて構いません。

新潟市教育委員会より新潟市の児童生徒の皆さんへ

私たち教育委員会は、皆さんが毎日の学校生活の中で、安心して勉強したり、仲間と力を合わせたりしながら、成長していくことを願って仕事をしています。

そのような中、皆さんが使っているタブレットのキーボード付きケースから、煙が出るなどの事故が起きました。皆さんやおうちの方に心配をかけたり、急にタブレットを使えなくなったことで、学習や学校生活に不便な思いをさせたりしてしまいました。

このことについて、教育委員会としておわびします。

今回、不具合が確認されているのはキーボード付きケースであり、タブレット本体には不具合が確認されていません。そこで、皆さんの安全を第一に考え、キーボードに電気が通らないようにします。そうすれば、今回のような事故は起きませんので、安心して使えます。

詳しい方法は、先生の説明をよく聞いてください。

キーボードが使えないことで、不便に感じることもあると思います。教育委員会としても、皆さんが一日も早く、これまでのように便利にタブレットを使って学べるよう、対応を進めていきます。

心配なことや困ったことがあれば、先生やおうちの人に相談してください。

これからも、皆さんが安心して、自分らしく学び、成長していくことを心から応援しています。

新潟市教育委員会

添付 3

<文字入力について>

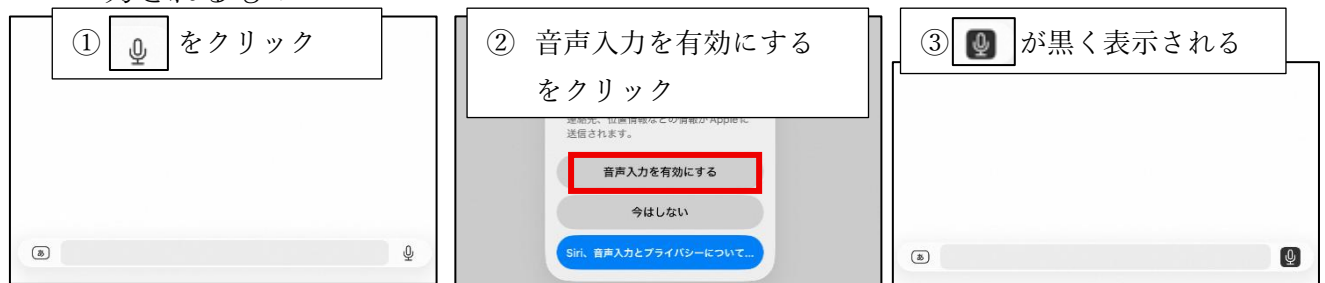
ア ソフトウェアキーボードでの入力

→画面上にキーボードが表示され、文字をタップすることで入力するもの



イ 音声入力

→マイク表示をタップし、音声入力を有効にすることで話した言葉が文字として入力されるもの



<コネクタの差し込みを防止するテープによる処置について（参考）>

参考提供：関連リース会社

ポイント：コネクタ金属部分が覆われていて、差し込みができない状態にする。



■ 2 cm 幅のテープの場合（左 2 枚画像）

- ① TypeC コネクタ（金属部分）のみビニールテープで巻く/テープの長さは 2 センチ程度
- ② TypeC コネクタ部分全体をビニールテープで 2 ～ 3 周巻く/テープの長さは 15 センチ程度

■ 5 cm 幅のテープの場合（右画像）

- 養生テープやガムテープで全体を覆う。

添付 4

<製造メーカー ベルキン社からの暫定措置 提案>

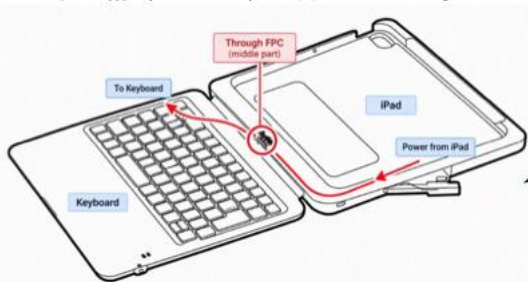
このたびは、Belkinが原因となりご迷惑をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。
また、ご返信が遅くなりましたことにつきましても、重ねてお詫び申し上げます。

今回の対応として、「キーボードフォリオからUSB-Cケーブルを一時的に取り外す方法」をご提案いたします。
技術的な説明および具体的な対応策は以下のとおりです。

下記の図に示すように、USB-Cケーブルは、iPadからヒンジ部分にあるハブへ電源・データ・信号を伝送し、さらにハブからFPCを経由してキーボードへ接続するために使用されています。

USB-Cケーブルを抜くことで、iPadからハブ、さらにFPCを経由してキーボードへ電力が供給されなくなります。

このため、仮にFPCが破損している場合であっても、iPadからFPCを経由してキーボードへ電流が流れないため、**短絡（ショート）は発生しません。**



① スタンドを開く



② USBケーブルを外す



また、生徒がUSB-Cケーブルを再接続したり、USB-C充電ポートを使用したりすることを防止したい場合は、以下のように、**USB-Cケーブルのコネクタ部分およびUSB-C充電ポートをテープで覆う方法**をご提案します。

このようにすることで、キーボードフォリオはデータ通信や電源接続を行わず、**純粋にiPadを保護するケースとして使用することができます。**

よろしくお願いいたします。

Prevent students to plug-in and charge

